森®を建てよう。

建築家が創るHOPデザイン。

素材がもつ物語、その存在自体が美しい住まい
東京都T邸

この住まいは、国内外に足を運び、自らの目で確かめるなど、オーナーのあくなき素材への情熱が出発点となっている。木材は、何本もの丸太から優れた木目を選び、和室の柱は吉野で特別な柾目を入手。天井板と床柱には屋久杉を使い床板は輪島の漆職人が仕上げHOPの宮大工が丹精を込めて造り上げた。パブリックスペースは、床・壁ともに全面を大理石で仕上げ、天井には無垢のタモやヒバ材を使用。重厚感のある格式高い空間へと昇華させている。プライベートスペースは、北海道産のナラやタモなどの無垢の木で包み込み、空間に温かみを与えた。素材すべてに物語があり、「存在そのもの」を生かしきるという日本本来の美意識に応えている。自然からの贈り物と技術の全てを駆使して仕上げた人々との思いが重なり、唯一無二の住まいが完成した。

伸びやかな屋根、天然木の深い庇が陰影と重厚感を生み、視線の変化で趣を変え豊かな表情を生み出している。この外壁の印象を際立たせるのは、イタリア産の花崗岩。オーナー自ら現地で原石を確認して購入したものだ。

撮影／木田 勝久

HOP
Housing Operation Project Group